

2023年8月期決算説明会資料

2023年10月25日



1. 会社概要

2. 2023年8月期決算概要

3. 2024年8月期見通し、中期経営計画



会社理念

ウエストグループに働く人は皆、豊かで幸福でなければならない。そのためには常に変化に挑み、無限の可能性を信じ顧客に満足願える仕事を通じて社員の幸福を増進し会社の発展と繁栄を念願するものである。

ウエストグループは、創業以来変わらぬ会社理念を経営の原点とし常に変化と創造で、あらたな事業を創り出し続けます。

VISION

「太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーと省エネルギーを推進することで化石燃料に頼らない「脱炭素社会」の実現を目指します」

持株会社

主要事業子会社



- ・ グループの経営戦略
- ・ グループの管理統括
- ・ グループの財務運営

 株式会社ウエストエネルギーソリューション	※ [100%]
<ul style="list-style-type: none">・ 住宅用、公共・産業用太陽光発電市場の開拓・ 太陽光発電事業（自社所有の発電所）・ 産業用・非FIT発電所の企画・設計・販売・施工・ 省エネ設備の設計・施工・ 蓄電所の企画・設計・販売・施工	
 株式会社ウエストビギン	[100%]
<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電システムの商品開発、物流	
 株式会社ウエスト O&M	[100%]
<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電所の運用改善（オペレーション）・ 太陽光発電所の保守・管理・監視サービス（メンテナンス）	
 WEST International(Thailand)Co.,Ltd.	[49%]
<ul style="list-style-type: none">・ タイを中心としたASEAN諸国でのエネルギーソリューションサービス	
 株式会社ウエストグリーンパワー	[100%]
<ul style="list-style-type: none">・ 再生可能エネルギーの買取、卸売り	

※ [%] はウエストホールディングスの出資比率をさします

ウエストグループの変遷

ウエストグループは、時代の変化とともに「朝令朝改」
ウエストグループは、常に「変化の創造」

1981

住宅建材商社

広島市に
西日本鐘商を創業



1985

屋根瓦工事実績
日本一

瓦事業部を設立

2002年 芸予地震の
影響を受けた広島城
天守閣屋根瓦工事を
受注



1993

コンクリート建造物の
耐震診断・補修

ビルの耐震診断・補修
事業を開始
阪神淡路大震災後の
ビル復旧工事を受託
(施工実績)
兵庫県庁、神戸市役所
そごう ほか



1995

企画型住宅の販売

企画型住宅
骨太住宅の販売を開始

樹木希林さんをイメージ
キャラクターとして
全国CM放映



2005

家庭向け
オール電化・太陽光発電

ヤマダ電機と業務提携

店舗内にリフォーム
コーナーを展開



2011

中規模 太陽光発電

高圧太陽光発電所の
企画・開発・施工を開始



2012

メガソーラー

メガソーラーの
企画・開発・施工を
開始



2015

省エネルギー事業

省エネルギー事業
「ウエストエスコ」
サービスを開始



2016

海外（アジア）事業

タイに子会社を設立
ASEANで太陽光、
省エネ事業を展開



2018

排出権取引を開始

Jクレジットの取扱を開始



2020

非FIT発電所

非FIT発電所の開発を開始
非FIT電源の取り扱い会社
ウエストグリーンパワーを
設立



2022

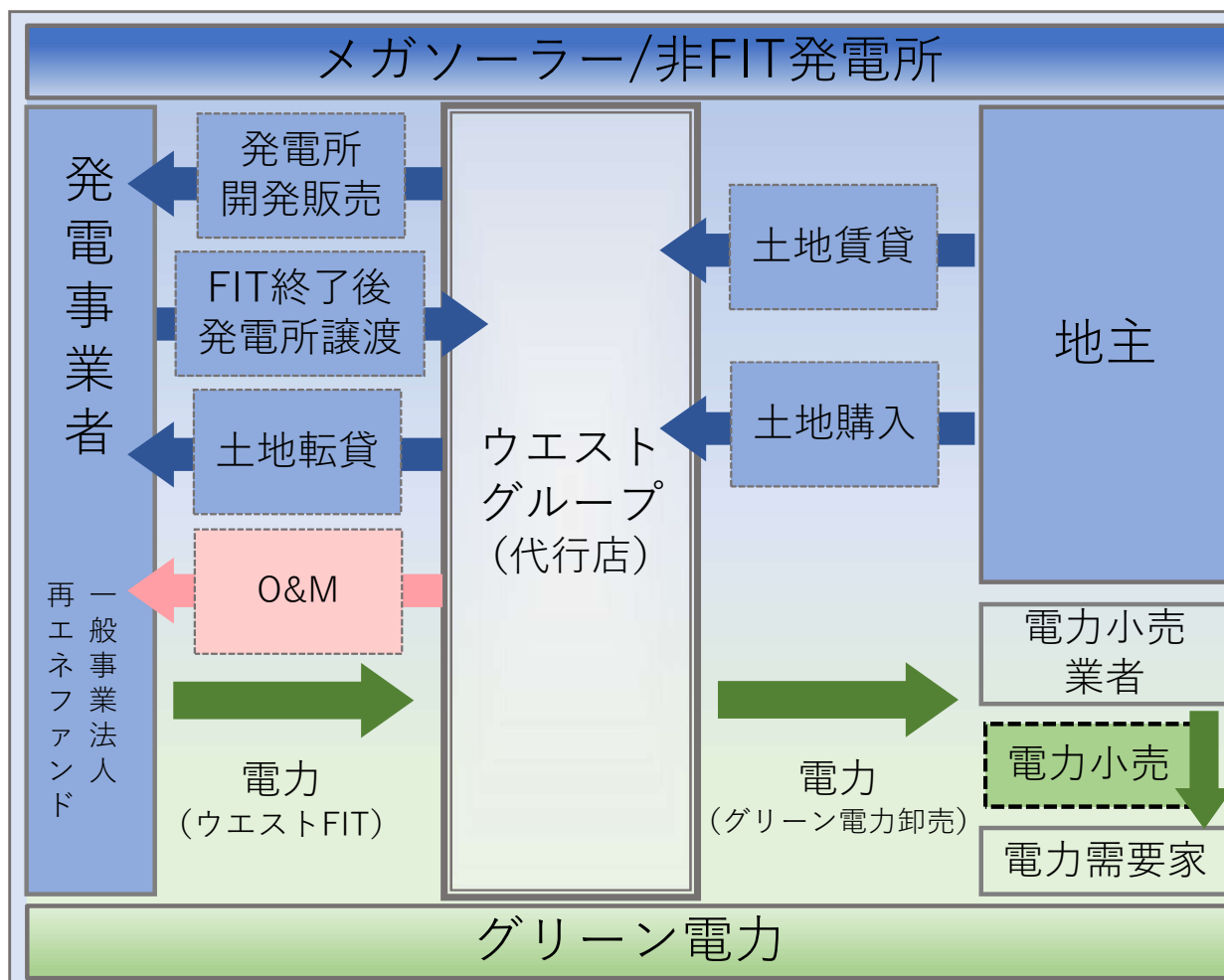
サステナブルスタンダード
を開始

CO2排出量の可視化、
カーポート型太陽光発電、
自己託送制度などをパッケージ
としたサービスを開始



日本一のファブレス再エネ電力会社を目指す

資産を増加させることなく、再エネ電源を確保
フロー収益とストック収益の同時追求



フロー	ストック	ストック
非FIT発電所	O&M	グリーン電力卸売

系統連系可能な建設用地の確保

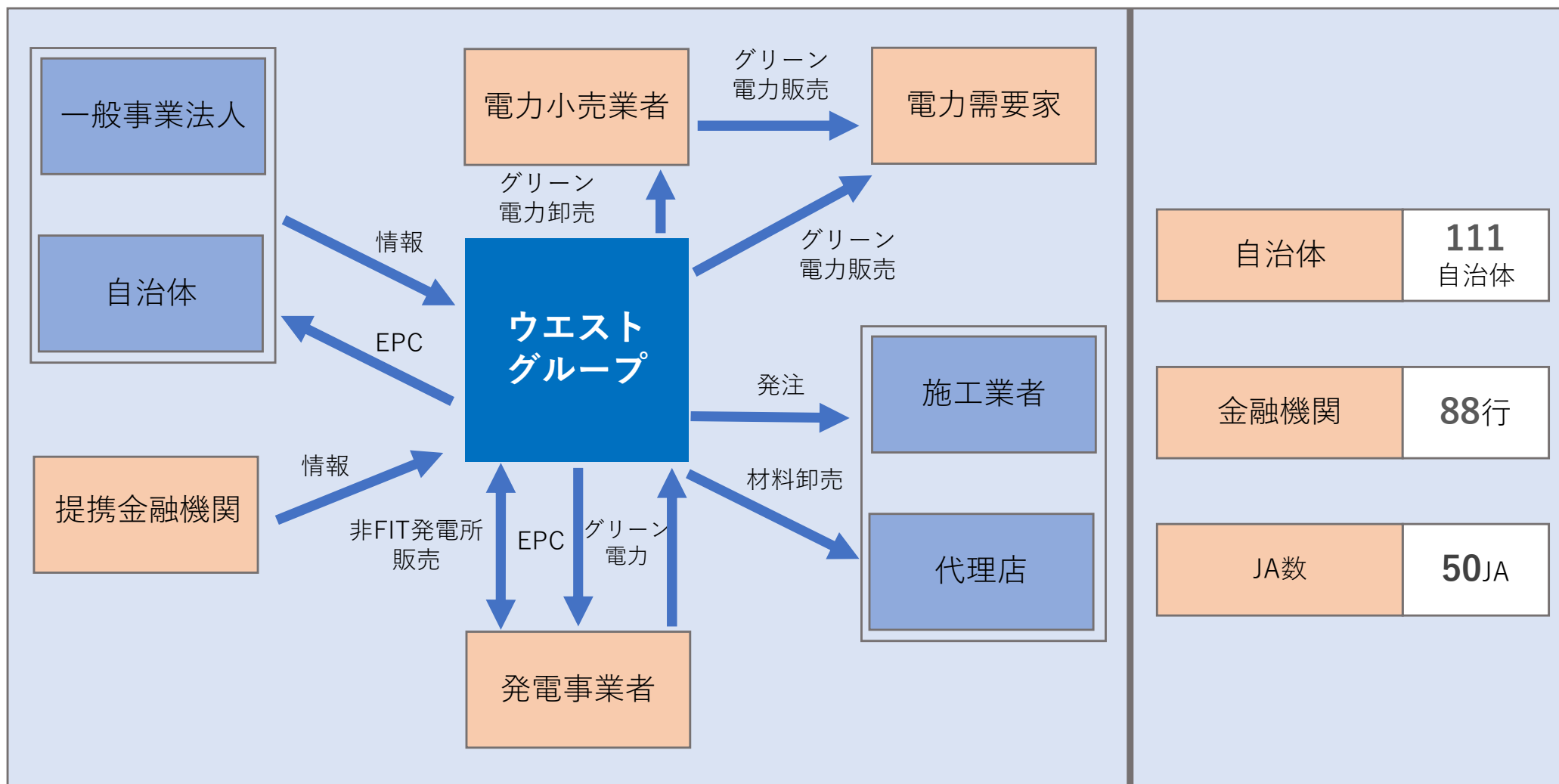
- 地域密着の代行店による開拓
- 自治体からの情報
- 提携金融機関からの情報
- 荒廃農地 28.4万haの活用

<実質保有電源容量累計> (単位：MW)

	2023/8	2024/8	2025/8	2026/8
非FIT発電所	118.2	407.2	764.2	1161.2
メガソーラー	469.4	469.4	469.4	469.4
合計	587.6	876.6	1233.6	1630.6
(自家消費)	209.5	332.8	473.3	619.6

事業スキーム

再生可能エネルギーのプラットフォーマー
金融機関をはじめ全国での各提携数は堅調



企画～施工～連系～O&M～リニューアルまで一気通貫のモデル
顧客へクロスセル型の総合提案を実現

フロービジネス

再生可能エネルギー
事業

産業用太陽光

■自家消費

非FIT発電所

■低圧・高圧発電所

■再生メガソーラー
(非FIT発電所として活用)

メガソーラー

■開発・販売

ストックビジネス

電力
事業

■グリーン
電力卸売

■自社売電

省エネ
事業

■ウエスト
エスコ

・LED
・空調
・エコクラウド
(冷凍・冷蔵設備
温度管理システム)

メンテナンス
事業

■O & M

※2023年8月現在

太陽光発電【68,659カ所・2,527,139kW】

メガソーラー 318カ所 451,423kW	水上ソーラー 16カ所 21,425kW	自治体ソーラー 751カ所 25,560kW	産業用ソーラー 13,482カ所 1,617,840kW
住宅用ソーラー 53,280件 261,072kW	営農型太陽光 87カ所 8,700kW	ウエストタイ 155カ所 87,710kW	ウエストFIT 570カ所 53,409kW

O&M受託件数【高圧/特別高圧 451カ所・622MW】



ウエスト第4ビルに「でんきの広場」開設
パワーコンディショナ、キュービクル
などの実機を展示



ウエスト グループ 資格者一覧

1級電気工事施工管理技士	22名	第2種電気工事士	49名	1級土木施工管理技士	7名
2級電気工事施工管理技士	6名	1級電気通信工事施工管理技士	1名	2級土木施工管理技士	3名
第1種電気主任技術者	2名	1級建築士	3名	1級管工事施工管理技士	3名
第2種電気主任技術者	8名	2級建築士	7名	2級管工事施工管理技士	5名
第3種電気主任技術者	24名	1級建築施工管理技士	5名	給水装置工事主任技術者	3名
第1種電気工事士	46名	2級建築施工管理技士	1名	宅地建物取引士	14名

1. 会社概要

2. 2023年8月期決算概要

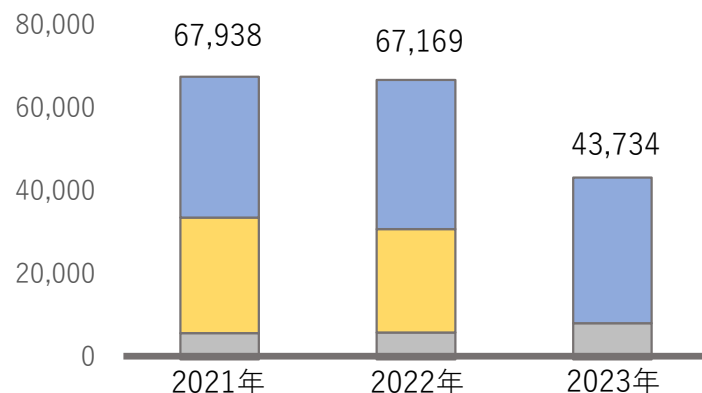
3. 2024年8月期見通し、中期経営計画



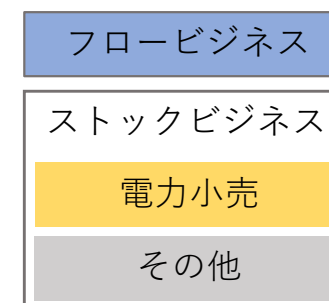
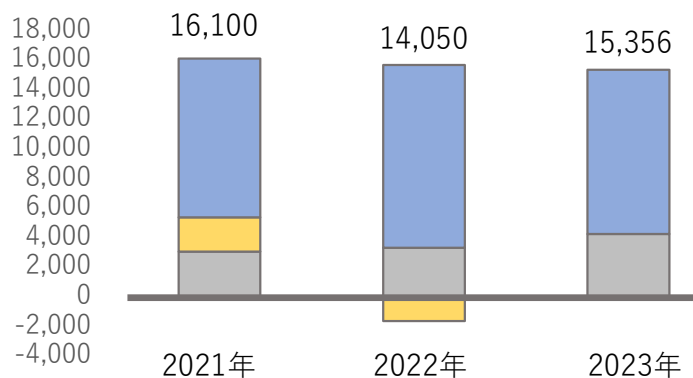
2023年8月期 決算概況

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期		前期比増減率
	実績	実績	当初計画	実績	
ウェストグループ総売上高	67,938	67,169	61,276	43,734	65.1%
再生可能エネルギー事業	31,546	35,972	51,945	32,487	90.3%
省エネルギー事業	2,361	1,945	2,128	2,133	109.7%
電力小売事業	27,800	24,844	-	-	-
グリーン電力卸売	-	177	653	462	261.0%
自社売電事業	2,481	2,832	4,704	4,268	150.7%
メンテナンス事業	1,463	1,700	1,704	1,860	109.4%
その他	-	1	142	864	-
営業利益	10,148	7,770	11,247	8,499	109.4%
(営業利益率)	14.94%	11.57%	18.36%	19.43%	168.0%
経常利益	9,648	7,293	10,647	7,972	109.3%
親会社・株主に帰属する当期純利益	6,495	4,257	7,240	6,016	141.3%

<売上高3か年実績推移> (単位：百万円)

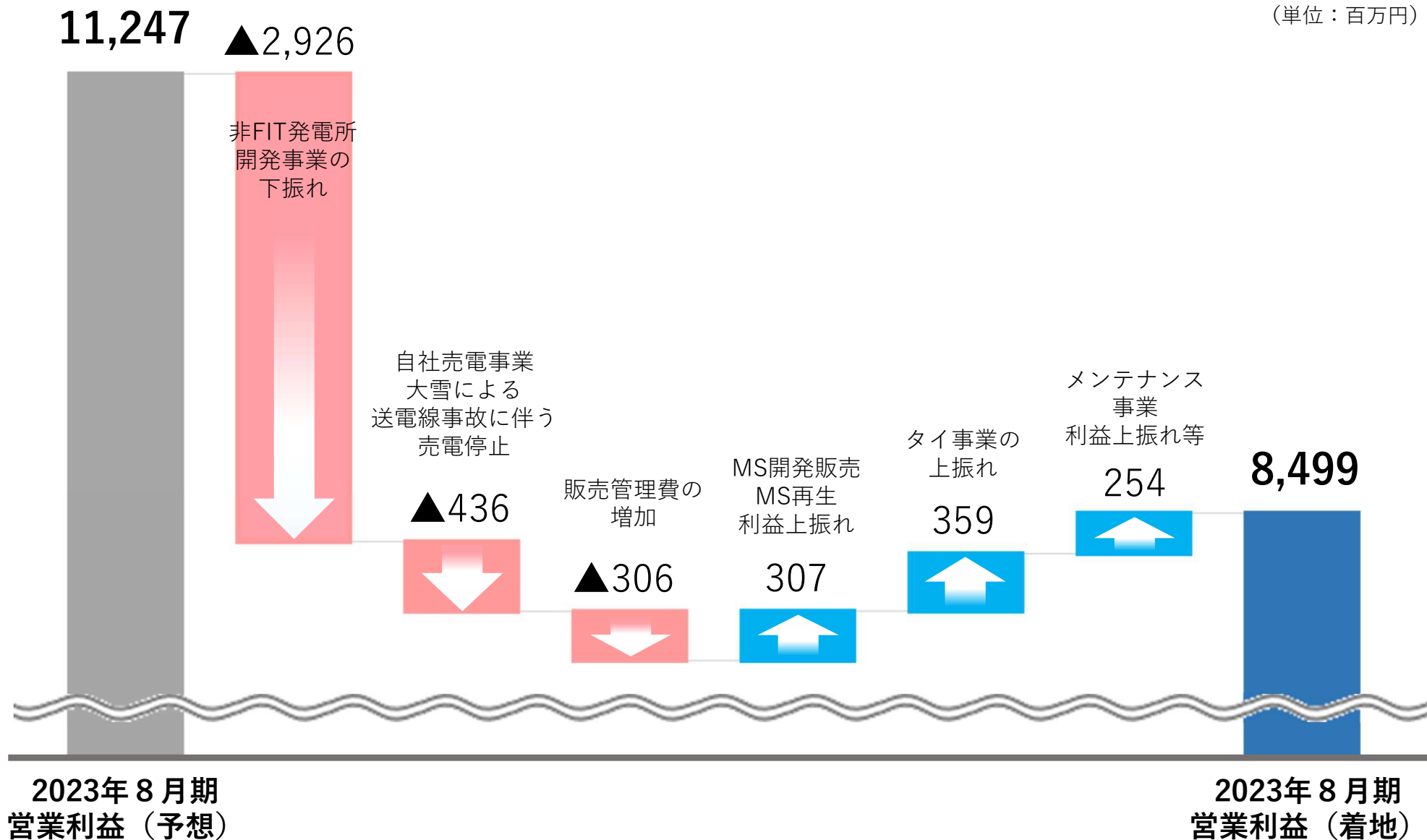


<粗利益3か年実績推移> (単位：百万円)



2023年8月期 営業利益の推移

(単位：百万円)



セグメント別ハイライト①

産業用太陽光（自家消費）

- 受注増と施工能力の強化により、前年比8割増となる約180億円の売上計上。
- ウエストサステナブルスタンダードの本格展開により、施工コストの引き下げに成功。利益率の改善に大きく寄与。

非FIT発電所（ウエストFIT）

- 受注と開発案件ストックは順調に積み上がったものの、開発にかかる許認可取得、新たな規制や法令上の義務への対応に想定以上の時間を要し、月間の工事件数の積み上がりに遅れが発生。
- 売上実績は、
<1Q>3.4億円 → <2Q>13.2億円 → <3Q>10.1億円 → <4Q>77.8億円
と、最終的に計画していたペースに達するも、前半での遅れを取り戻すに至らず。

セグメント別ハイライト②

メガソーラー

- 開発販売 . . . 売上高 23億円 (3物件、5.3MW)
- 再生 . . . 売上高 8.8億円 (5物件、3.2MW)

自社売電

- 昨年完成した約60MWの穴水メガソーラーは、大雪による送電線事故により、2ヶ月間の売電停止期間が発生するも、前年度比の大幅売上増に寄与。

ウエストタイランド

- 受注増に加え、従来はPPA案件が大半であった事業構成から、EPCのシェアが増加したため、計画の約3倍となる15億円の売上を計上。

省エネルギー

- LED・空調設備等のウエストエスコ資産残高維持により、安定した売上高を計上

(単位：百万円)

事業年度	2019.8月期	2020.8月期	2021.8月期	2022.8月期	2023.8月期
売上高	1,641	1,972	2,289	1,945	2,133
資産残高	4,798	4,995	4,623	4,351	4,266

メンテナンス (O&M)

- メガソーラー減少分を産業用の増加とウエストFITの立ち上がりにより、契約容量は順調に拡大

(単位：百万円)

(当社メンテナンス写真一例)

事業年度	2022年8月期	2023年8月期
売上高	1,700	1,818
契約MW	824.3	1,076.4



1. 会社概要

2. 2023年8月期決算概要

3. 2024年8月期見通し、中期経営計画



2024年8月期 決算予想

(単位：百万円)

	2023年8月期	2024年8月期			前期比増減 通期
	実績	予想			
	通期	上期	下期	通期	
ウエストグループ総売上高	43,734	26,150	38,505	64,655	147.8%
再生可能エネルギー事業	32,487	21,047	32,095	53,142	163.6%
■産業用太陽光請負（自家消費）	18,588	8,987	12,513	21,500	115.7%
■非FIT発電所開発（ウエストFIT）	10,470	12,060	19,582	31,642	302.2%
■メガソーラー開発	2,548	-	-	-	-
■メガソーラー再生	881	-	-	-	-
電力事業	4,730	2,129	3,371	5,500	116.3%
■グリーン電力卸売	462	360	540	900	194.8%
■自社売電	4,268	1,769	2831	4,600	107.8%
省エネルギー事業	2,133	1,052	1,048	2,100	98.5%
メンテナンス事業	1,860	900	930	1,830	98.4%
ウエストタイランド	1,660	972	1,011	1,983	119.5%
その他	864	50	50	100	-
営業利益	8,499	3,894	7,789	11,683	137.5%
（営業利益率）	19.43%	14.89%	20.23%	18.07%	93.0%
経常利益	7,972	3,564	7,419	10,983	137.8%
親会社・株主に帰属する当期純利益	6,016	2,380	5,058	7,438	123.6%

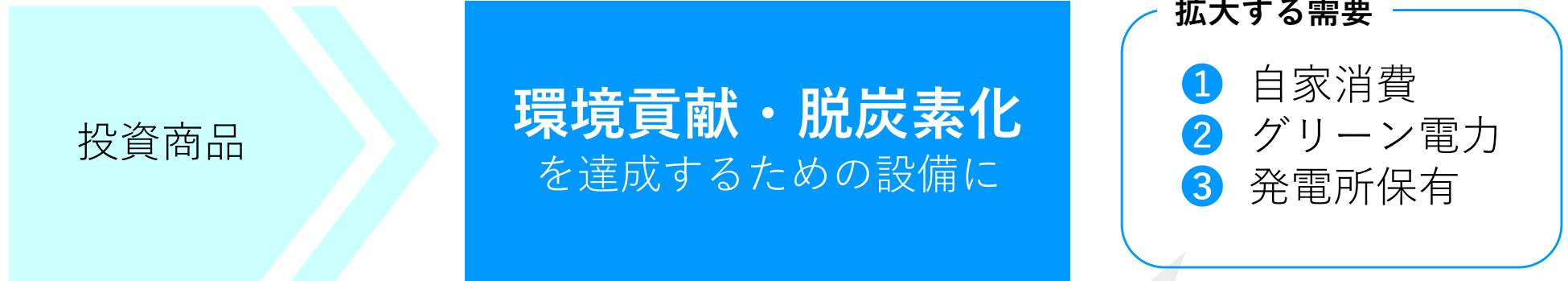
3 年事業計画

(単位：百万円)

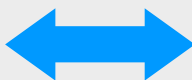
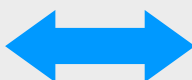
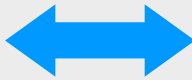
	2023年8月期	計画		
		2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
ウェストグループ総売上高	43,734	64,655	78,921	88,936
再生可能エネルギー事業	32,487	53,142	67,048	76,748
■産業用太陽光請負（自家消費）	18,588	➡ 21,500	➡ 24,500	➡ 27,000
■非FIT発電所開発（ウエストFIT）	10,470	➡ 31,642	➡ 42,548	➡ 49,748
■メガソーラー開発	2,548	-	-	-
■メガソーラー再生	881	-	-	-
電力事業	4,730	5,500	5,500	5,500
■グリーン電力卸売	462	➡ 900	900	900
■自社売電	4,268	➡ 4,600	4,600	4,600
省エネルギー事業	2,133	2,100	2,100	2,100
メンテナンス事業	1,860	1,830	1,880	1,950
ウエストタイランド	1,660	1,983	2,293	2,538
その他	864	100	100	100
営業利益	8,499	11,683	14,772	17,706
（営業利益率）	19.43%	18.07%	18.72%	19.91%
経常利益	7,972	10,983	13,972	16,806
親会社・株主に帰属する当期純利益	6,016	7,438	9,471	11,398

ウエストグループの戦略①

太陽光発電所の位置づけが変化



ウエストはそれぞれの需要に対応

- | | | |
|---|---|-------------------------|
| <p>① 自家消費</p> <p>発電所を所有し、その電気を使用（大手サプライヤー工場、大型店舗、物流施設）</p> |  | <p>産業用太陽光請負</p> |
| <p>② グリーン電力</p> <p>発電所は保有せず、グリーン電力のみ使用（大阪ガス、MCリテールエナジー）</p> |  | <p>グリーン電力卸売</p> |
| <p>③ 発電所保有</p> <p>グリーン電力は使用しないが、環境貢献・規制対応のため、再エネ発電所を保有（JERA、SMFLみらいパートナーズ）</p> |  | <p>非FIT発電所開発</p> |

変化経験と実績に基づくウエスタの施工体制

膨大な需要・受注



環境・安全面における
社会的要請

着実・確実な施工能力の拡大

非FIT発電所開発

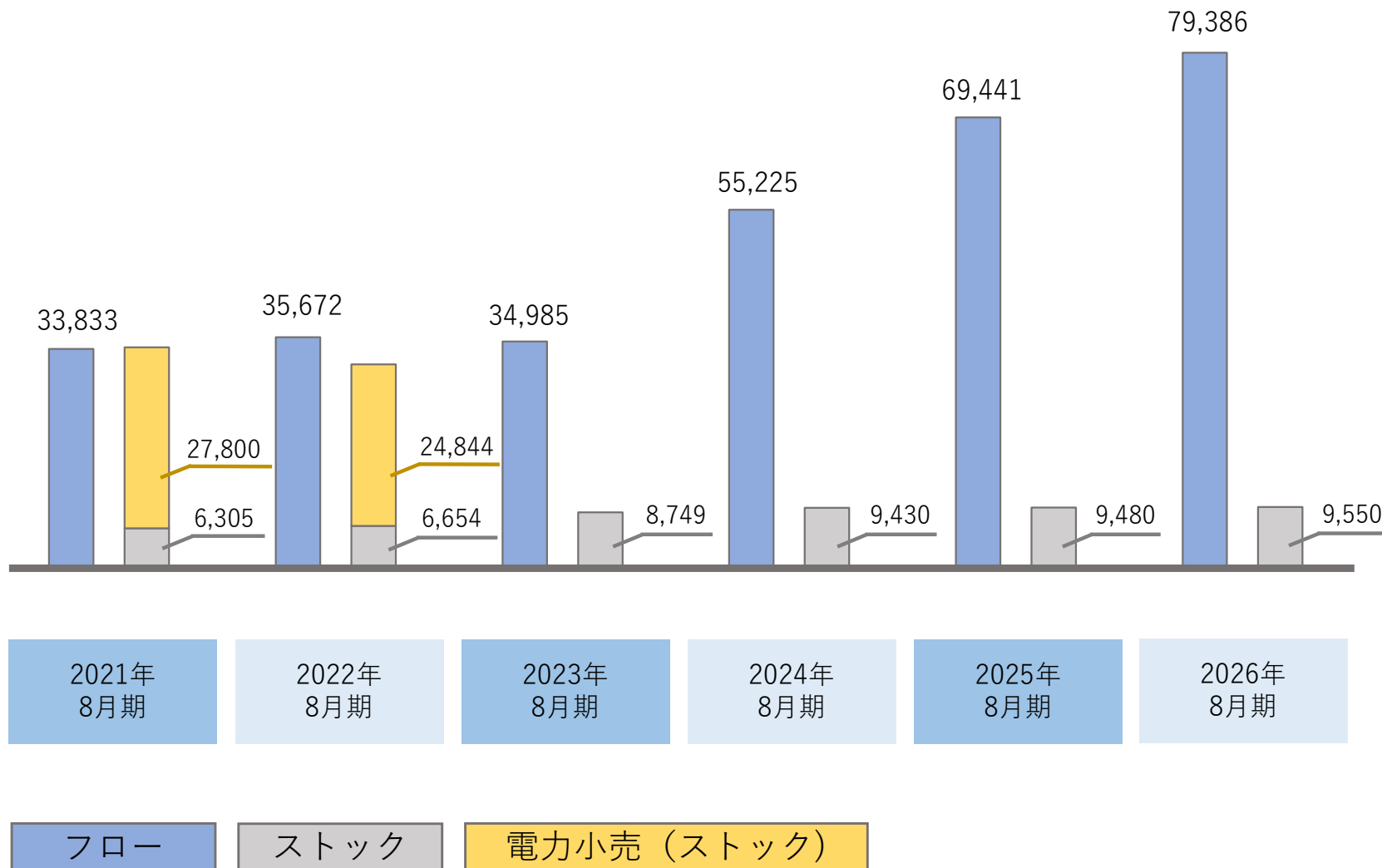
- ・ 煩雑で多岐に渡る大量の許認可取得や申請等をスムーズに対応できる管理体制の構築。
- ・ 規格化した施工内容で安全・効率的に工事。
- ・ 新しく義務化された使用前自己確認制度にも対応できる資格者ネットワークを形成。

産業用太陽光請負
(自家消費)

- ・ それぞれ現場で状況が異なる工場・店舗屋根上の難易度の高い工事に対応。
- ・ 高い施工能力を持つ施工業者の確保・育成を推進するとともに、社内の工務社員の増員・教育を進める。

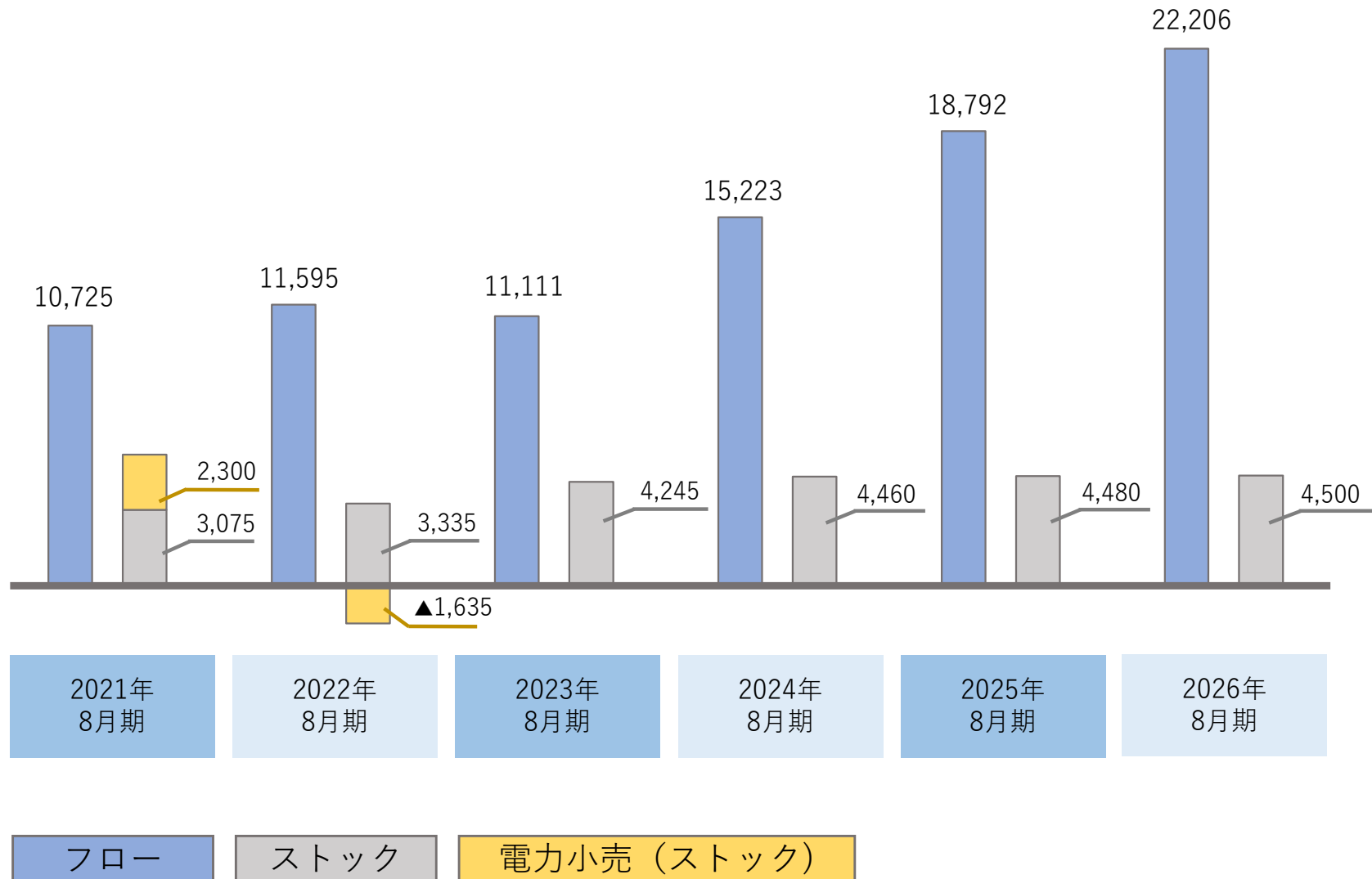
売上推移

(単位：百万円)



粗利益推移

(単位：百万円)



産業用太陽光請負（自家消費）

（単位：百万円）

事業年度	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
売上高	21,500	24,500	25,500
期首受注残	5,964	9,464	10,964
新規受注分	25,000	26,000	27,000
期末受注残	9,464	10,964	12,464

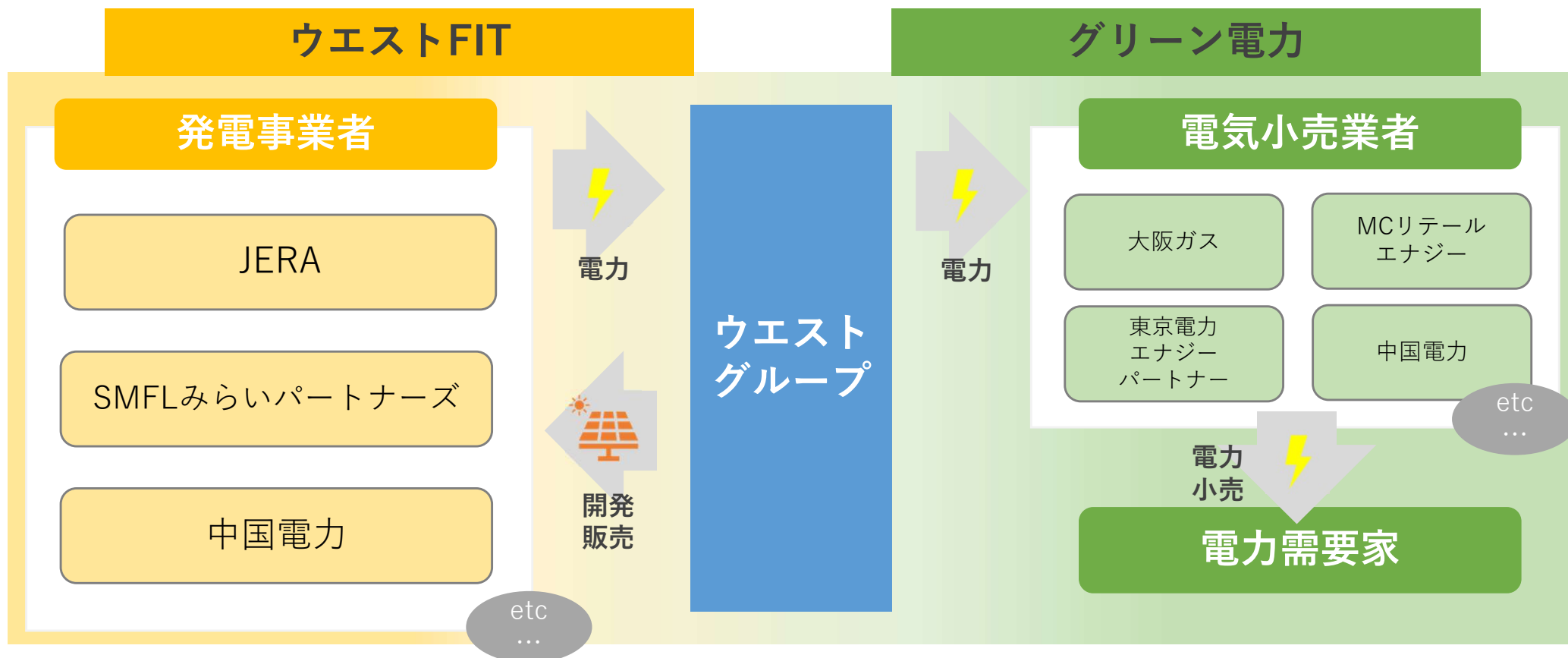
提携銀行	88行
重点銀行	58行
総支店数	7,182
総メイン先数	638千社

引き続き自家消費へ特化

一般案件 … ウェストサステナブルスタンダードを徹底推進

大規模案件 … 特建事業部（新設）による集中対応

非FIT発電所開発（ウエストFIT）



<ウエストFIT計画>

(単位：百万円、MW)

	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
売上高	10,470	31,642	42,548	49,748
パネル容量	100	289	357	397

ウエストインターナショナルタイランド

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
32件	16件	23件	38件	41件	33件
6.48MW	7.01MW	9.80MW	27.98MW	32.47MW	20.95MW

実績累計			
受注件数	受注規模	稼働済企業数	稼働規模
183件	104.69MW	120社	87.71MW

当社は、2018年から本格的に太陽光事業に参入し、100kW未満の小型から4.5MWを超える大型の太陽光発電の受注を毎年積み重ね、2023年8月末現在で183件104.69MWの受注、120社 87.71MWの稼働実績がある

※日系太陽光事業者最大手。
※受注件数を対象とした自社調べ。

タイにおける太陽光導入はPPAスキームがメインではあるが、外国企業向けのBOI恩典（税制優遇）が継続している為、自己投資の請負契約が以前にも増して需要がある。タイの国家エネルギー計画（2050年 カーボンニュートラル達成）による政府の後押しにも期待が高まり、これから先も衰えることのない太陽光導入需要が見込まれる。

また、ウエストグループの一員として、日本で培ったノウハウを最大限活用し、安全第一で精度の高い施工体制強化、アフターメンテナンス体制の強化を図り、より多くの企業にジャパंकオリティの太陽光を提供することを目指す。

2023年11月にはバンコクOfficeを増床し、太陽光発電所の監視センター兼ショールームをオープンする。

タイの太陽光発電所はタイで監視を行い、現地の気象情報を画面に取り入れ、緊急対応等に活かす。

また、普段間近で目に見ることができない、太陽光パネルや各種主要機器、メンテナンスに使用するドローンの実機を展示する。

◎ バンコクOffice

屋根置きだけでなく、地上設置のご要望にも対応



ドローン点検が本格始動



2023年11月

監視センター兼ショールーム **OPEN**



完成イメージ

蓄電池分野での業務提携（パワーエックス）

パワーエックスとウエストグループが業務提携



弊社ホームページ
プレスリリース

2023年8月2日

株式会社ウエストホールディングス

パワーエックスとウエストホールディングス、
蓄電所と太陽光発電所の開発・運用に向けた業務提携について
～200MWhの蓄電所および30MWの太陽光発電所を25年春までに日本全国で開発。～

株式会社ウエストホールディングス（広島市西区、代表取締役会長：吉川 隆、以下「ウエストグループ」）は、株式会社パワーエックス（PowerX, Inc.）（東京都港区、取締役兼代表執行役社長 CEO：伊藤 正裕、以下「パワーエックス」）と業務提携基本契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1 本件の背景・目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、各企業や各地域の脱炭素化に向けた取組みにおいては、脱炭素化の動きを成長の機会と捉え、自治体・金融機関・地域企業・地域住民などの地域のステークホルダーが主体となって、持続可能な地域社会の形成に向けて取組みが求められています。

ウエストグループでは、大企業のみならず、サプライチェーンに関連する多くの企業に向けての自家消費型太陽光発電の建設、また、グリーン電力の開発として非FIT発電所の開発・建設を行っているほか、111（2023年6月末時点）の地方自治体と協定を締結するなど、カーボンニュートラルに向けた取組みを進めています。コーポレートPPA事業やVPP事業の展開も拡大しており、蓄電池システムの重要性が高まっています。

また、再生可能エネルギーの導入が加速する中、再エネの出力変動を補完できる蓄電池の重要性が大きくなっています。蓄電池を電力系統に接続すると、系統の電力が余った時には蓄電し、不足した時には放電できるため、電力系統の安定化が可能になります。また、太陽光発電所などに蓄電池を併設し、発電された再エネの充放電を行うことで出力変動を緩和する再エネ併設型蓄電池も注目されています。

ウエストグループは、パワーエックスの定置用蓄電池等を活用し、新たな事業やサービスを展開いたします。また、ウエストグループより、パワーエックスの顧客に向けた再エネ電源の供給や自家消費型の太陽光発電所の提供を行い、両者の顧客に対して総合的なエネルギーソリューションを提供してまいります。

2 業務提携の主な内容

・系統用蓄電所の開発および運用

ウエストグループは、パワーエックスが製造する定置用蓄電池を採用し、主に中規模の蓄電所を全国各地に開発します。2025年春までに整備する蓄電所容量は、200MWhを目標とします。

パワーエックスは、自社製AIを活用した蓄電所運用を行い、卸電力市場等の電力取引を行います。

・非FIT太陽光発電所の開発及び運用

ウエストグループは、パワーエックスを引取先とする太陽光発電所を全国各地に開発します。2025年春までに開発する発電所容量は、30MW/dcを目標とします。

パワーエックスは、開発された太陽光発電所からの電力を、主に産業用・業務用の需要家へコーポレートPPAの方式等で供給し、また一部は自社内の再生可能エネルギー電力需要にも利用する予定です。

・営業活動における相互送客

ウエストグループのオンサイト太陽光発電設備導入の実績とパワーエックスの蓄電池の導入における強みを組み合わせ、両者の見込み客に対して、再生可能エネルギーの発電と蓄電をセットで提案することでそれぞれ販売力を強化します。

・ウエストグループが、**蓄電所を2025年まで200MWh**を開発。
蓄電所設備は、パワーエックスより供給。

・開発した蓄電所は、パワーエックスで運用。
Phase1： 卸電力市場での取引
Phase2： 再エネ電源の蓄電～放電（売電）

・ウエストグループが、**非FIT電源を2025年までに30MW**開発。
開発された発電所からの電気は、
・パワーエックスの需要家にコーポレートPPAで供給
・蓄電所内の電気に仕様

・パワーエックス、ウエストグループが双方の顧客を送客
・ウエストグループは、蓄電所ニーズの顧客を紹介
・パワーエックスは、太陽光発電所ニーズの顧客を紹介



2022年11月21日

株式会社ウエストホールディングス

蓄電池分野における新規事業の共同検討に関する覚書の締結について
～「系統用蓄電所」・「再エネ併設型蓄電池」で蓄電池ビジネスを加速～

株式会社ウエストホールディングス（代表取締役社長：江頭栄一郎、以下「ウエストHD」）と、大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原正隆、以下「大阪ガス」）と本年4月に締結した資本業務提携の取り組み*1の一環として、本日、蓄電池分野における新規事業の共同検討に関する覚書を締結しました。ウエストHDの案件開発力や資材調達力、大阪ガスの電力トレーディングや新市場での取引知見などを活用し、蓄電池ビジネスにおいても連携を強化します。

再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の導入が加速する中、再エネの出力変動を補完できる蓄電池の重要性が大きくなっています。蓄電池を電力系統に接続すると、系統の電力が余った時には蓄電し、不足した時には放電できるため、電力系統の安定化が可能となります。また、太陽光発電所などに蓄電池を併設し、発電された再エネの充放電を行うことで出力変動を緩和する再エネ併設型蓄電池も注目されています。

このたび両者は、業務提携を拡大し、蓄電池ビジネスの検討を加速させるため、蓄電池における新規事業の検討に関する覚書を締結いたしました。

具体的には、
・系統蓄電池（蓄電所）の共同開発や共同運営の検討
・再エネ併設型蓄電池の共同開発や共同運営の検討

とし、ウエストHDが太陽光開発のプラットフォームを生かして蓄電設備を設置し、大阪ガスが蓄電設備を複数の電力市場で取引する運用を行い、電力系統の安定化に貢献することを目指します。

大阪ガスとは
大型蓄電所の開発
・運用について
業務提携契約を締結

弊社ホームページ
プレスリリース

ウエストサステナブルスタンダード

WEST SUSTAINABLE STANDARD ~ウエスト サステナブル スタンダード~

CO2排出量を可視化

温室効果ガス排出量管理クラウドサービス



AIの自動計算、脱炭素計画やオフセットなど豊富な機能がカンタンに使えるアスゼロなら、煩わしい業務の負担を軽減し、カーボンニュートラルへの近道が見つかります。

NEW

機器保証・塩害地域機器保証を始めました

1. 太陽光発電システム機器保証 **20年**
2. 塩害地域機器保証 **10年** ← 業界初

対象機器	太陽光発電パッケージ一式 太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、集電箱、監視装置、ケーブル、ダウントランス、およびその他の周辺機器
保証	①自然故障 経年劣化を含む。 ただし、通常使用に支障のない範囲の劣化は対象外 ②自然故障+塩害による故障 塩害対策された製品。 ただし、架台や金具等の塩害による故障は対象外 塩害によるサビ等、機能を損なわない損害は対象外
保証期間	①自然故障：20年 ②自然故障：20年 + 塩害故障10年

蓄電池システム



小さな容量から159kWhの大容量の蓄電池をラインナップ。いざというときも一定期間、停電を回避。太陽光発電とセットにすることで商用電源が停電しても電気が使用できます。

日本初「停電しない道の駅」



近年の異常気象で業務の中断で停電になるケースも増えていますが、ウエストグループでは、そんな自治体のお悩みを解決。広島県安芸高田市では、「停電しない道の駅」を開業しています。

太陽光発電システム

ウエストグループは、自家消費型太陽光発電システムを完全パッケージ化し、提供しています。お客様にもわかりやすい構成でご説明しております。



メンテナンス

ウエスト第四ビルに「でんきのひろば」を開設。監視センターを設置し、お客様の大事な発電所を見守ります。

専任の太陽光のメンテナンス職員と連携。電気技術レベルはトップレベル。(オーム社「新電気」)

ウエストサスティナブルパッケージ

太陽電池モジュール	kW	94.5kW	189kW	283.5kW	378kW	472.5kW
枚数		252枚	504枚	756枚	1,008枚	1,260枚
パワーコンディショナ	kW	50kW	100kW	150kW	200kW	250kW
台数		1台	2台	3台	4台	5台

ウエストオリジナル太陽電池モジュール WEST60M-375SCH (単結晶)
公称最大出力: 375W
公称質量: 20kg
公称サイズ: 1783×1040×35mm

WEST製ハーフカットセルモジュールは、寿命保証(12年)、性能保証(リニア出力保証25年)、ジャンクオクリティの保証体制で確かな安全をお約束します。

パワーコンディショナ SUN2000-50KTL-JPMO
公称最大出力: 50kW
最大変換効率: 98.9%

ウエストソーラーカーポート

建物屋根上だけでは十分に再生エネルギーが得られない場合は、駐車場に設置できる「ウエストソーラーカーポート」をご提案。



両持ち設置タイプ 駐車台数: 8台・12台・16台
片持ち設置タイプ 駐車台数: 4台・6台・8台・10台・12台

ウエスト見守りパッケージの3つのポイント

24時間365日監視

発電設備で異常が発生した場合、電気主任技術者へ出勤要請を行います。

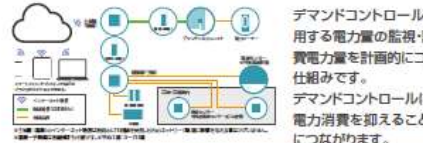
緊急時対応業務

発生した異常に応じて現地駆け付けを行います。

ドローンで点検

お引き渡し後、5日目、10日目、15日目にドローン点検を実施します。

デマンドコントロール



デマンドコントロールとは、事業で使用する電力量の監視・調整を通じて消費電力量を計画的にコントロールする仕組みです。デマンドコントロールによって、無駄な電力消費を抑えることで電気代削減につながります。

東京大学 先端科学技術研究センター クリーンルームの空調で最大43%の節電効果
先端科学技術研究センターのクリーンルームで空調の制御機器を制御。消費電力の最大43%の節電効果を実現しました。

省エネソリューション

省エネ機器を初期費用ゼロで設置できるモデル「ウエストエスコ」。消費電力を抑えることで、電気代削減につながります。

冷凍冷蔵マネジメントシステム

温度監視、機器監視、冷凍機のチューニング、見える化をワンストップで提供しています。クラウドを使って遠隔で対応。冷やしすぎなどの温度管理や機器故障も即座に対応します。

本資料は弊社グループの企業情報などの提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものではありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は切り捨てとしているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ウエストホールディングス
代表電話：03-6812-2501